

令和元年東日本台風災害 復旧・復興に向けた取組の状況等について



令和3年9月21日
長野県

1	被害状況等について	03
1-1	人的・住家被害等	04
1-2	被害総額	05
1-3	生活再建のための資金の配分	06
2	「暮らし」「住宅」の再建	07
2-1	見守り活動等、健康障害防止対策	08
2-2	医療機関・福祉施設等の復旧支援	11
2-3	住宅再建	15
2-4	災害廃棄物の処理	17
3	「生業」の再建	18
3-1	産業の復興	19
3-2	農業の復興	21
3-3	観光の復興	25
4	インフラの復旧	27
4-1	インフラの復旧	28
4-2	流域治水の推進	46
4-3	「逃げ遅れゼロプロジェクト」の推進	54
5	ボランティア、NPO等の活動	57
5-1	ボランティア、NPO等の活動	58
6	地域の取組	61
6-1	自治体、支援団体、個人の取組 等	62

1 被害状況等について

1-1 人的・住家被害等

1 人的被害

・ <u>死者</u>	<u>23</u> 名	<u>(+2)</u>
<u>うち災害関連死</u>	<u>18</u> 名	<u>(+2)</u>
・ 行方不明者	0 名	(±0)
・ 重傷者	14 名	(±0)
・ 軽傷者	136 名	(±0)

【死者数内訳】

市町村名	数
長野市	17
飯山市	1
佐久市	2
東御市	1
小布施町	2

令和3年9月6日現在

※ () は、前回会議 (3月24日) との差

2 住家被害

・ 全壊	920棟	(± 0)	1,087 世帯	(± 0)
・ <u>半壊</u>	<u>2,496</u> 棟	<u>(- 2)</u>	<u>2,889</u> 世帯	<u>(+ 8)</u>
・ 一部破損	<u>3,569</u> 棟	<u>(+ 5)</u>	<u>3,693</u> 世帯	<u>(+ 5)</u>
・ 床上浸水	2棟	(± 0)	5 世帯	(± 0)
・ 床下浸水	<u>1,358</u> 棟	<u>(- 2)</u>	<u>1,625</u> 世帯	<u>(- 2)</u>

【災害を踏まえた取組】

● 逃げ遅れゼロプロジェクト

- ・ 令和元年東日本台風災害の教訓を踏まえ、令和2年度に実施した「逃げ遅れゼロプロジェクト」を更に強化。
- ・ 住民の「自らの命は自らが守る」意識の醸成や適時適切な避難を促す仕組みづくりの推進など、避難対策の充実により逃げ遅れゼロの実現を目指す。

1-2 被害総額



276,674 百万円

被害の別	発生数	単位	被害額(百万円)	備考
計	-	-	66,928	
農業関係	農作物・樹体被害	2,062 ha	1,925	
	生産施設等	1,219 箇所	8,575	
	農地・農業用施設	10,365 箇所	56,168	
	農業集落排水施設等	12 箇所	260	農村公園施設含
林業関係	計	1,818 箇所	4,685	
	治山	88 箇所	2,310	
	林道	1,730 箇所	2,375	
公共土木施設	計	1,298 箇所	70,861	
	河川	803 箇所	51,331	
	砂防	47 箇所	2,198	
	道路	448 箇所	17,332	
都市施設	計	75 -	40,433	
	下水道	55 箇所	38,138	
	公園	20 箇所	2,295	
商業関係	925 件	81,744		
学校施設	173 校	1,281		
学校以外の教育施設等	83 施設	2,245		
社会福祉施設	133 施設	5,170		
医療施設	18 施設	1,366		
自然公園	23 箇所	123		
上水道	9 事業体	382		
浄化槽(市町村設置型)	5 基	2		
廃棄物処理施設	8 箇所	47		
公営住宅	1,032 戸	1,258	県営と市町村営の合計	
警察施設等県有施設	41 箇所	149	県庁舎含む	

令和2年9月18日現在

1-3 生活再建のための資金の配分



(1) 支援金・災害見舞金の支給

被災者生活再建支援法を適用するとともに、法制度の対象とならない被災世帯に対して、信州被災者生活再建支援制度や災害見舞金により市町村と一体となって支援を実施 (令和3年9月1日現在)

区分	主体	支給対象の被害程度	支給額	対象世帯数※	申請件数 a	支給件数 b	支給率 b/a
被災者生活再建支援制度	国	全壊・大規模半壊・解体	50万円 ～300万円	1,715世帯	1,686件	1,668件	98.9%
信州被災者生活再建支援制度	県 市町村	半壊	37.5万円 ～50万円	2,246世帯	2,246件	2,246件	100.0%
災害見舞金	県 市町村	半壊未満の床上浸水	10万円	523世帯	523件	523件	100.0%
合計				4,484世帯	4,455件	4,437件	99.6%

(2) 義援金の配分

- ・ 受付額 2,761,935,282円(令和3年3月31日で受付終了)
- ・ 配分額 2,725,484,000円(令和3年9月1日現在)
- ・ 市町村への配分日 第1回配分: 令和元年12月13日、第2回配分: 令和2年2月14日
第3回配分: 令和2年8月7日、第4回配分: 令和3年2月26日
- ・ 被害区分当たりの配分額(累積)

死亡	重傷	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊・ 床上浸水
980,000円	489,000円	980,000円	735,000円	489,000円	97,000円

- ・ 今後の予定 令和3年9月中に最終配分予定

2 「暮らし」「住宅」の再建

2-1 見守り活動等、健康障害防止対策

【取組の進捗状況】

- 県生活支援・地域ささえあいセンターの活動
 - ・ 統括生活支援相談員2名による、市町村センター活動の支援。
 - ・ センター未設置市社協が行う被災者訪問活動等の支援。(佐久市、千曲市、須坂市)
- 市町村生活支援・地域ささえあいセンターの活動
 - ・ 被災者の孤立防止のための見守り、住民交流活動、日常生活上の相談支援。
 - ・ 生活課題等に応じた「見守り区分(訪問頻度等)」に基づき、継続して訪問活動を実施。

※(R3.7末時点)

市町村名	相談員数	対象世帯					支援実施回数 (R3.4月～7月)	支援実施総回数 (R1年度～R3.7月)
		計	見守り区分					
			A 週1回訪問	B 月1回訪問	C 季節毎訪問	D 見守り不要・ 生活再建済等		
長野市	21名	1,002世帯	49	222	431	300	1,737	10,554
中野市	2名	117世帯	0	27	23	67	209	1,287
飯山市	5名	167世帯	0	3	18	146	89	969
佐久穂町	3名	138世帯	1	9	35	93	101	628

● 主な相談内容及び対応状況

- ・ 仮設住宅や親族宅等での長期間の生活が続く、生活のしづらさや精神的な負担が増加。
 - ➔ 相談員が訪問による寄り添い支援を行うとともに、健康・生活課題は保健師や地域包括支援センターにつなぐ。
- ・ 地域に戻れない人の孤独感や地域活動の担い手減少による住民の負担や不安が増加。
 - ➔ 住民主体の交流イベント開催の支援や住民支え合いによる地域活動の仕組みづくりを支援。

【課題・今後の取組】

[市町村センター]・住宅再建が進まない世帯に対して、関係機関と連携した個別の対応が必要。

・ ひきこもりや家族間トラブル等のつなぎ先がつかれていないケースの支援を強化。

[県センター]・センター未設置市における被災者の生活再建支援の促進。(被災者の現況把握、多機関連携による支援)

・ 圏域ごとに被災者支援を振り返り、今後の被災者支援体制について必要な見直しを図り、全県に波及。

【取組の進捗状況】

● 健康障害を防ぐための取組

・ 避難所開設期間の取組

【応急対応】

- ▶ DMAT、日本赤十字社等各種医療専門家チームも含めたアセスメント、施設支援、搬送支援、本部活動等

【二次的健康被害の持続的な防止】

- ▶ 避難所の環境整備(段ボールベッド、パーテーション導入促進、寒さ・乾燥対策等)
- ▶ 感染症対策の実施(保健師、医療関係者、国立感染症研究所等) ▶ エコノミークラス症候群への対応
- ▶ 高齢者・乳幼児等の要援護者への宿泊施設提供
- ▶ ポピュレーション(住民全体)アプローチ
 - ・避難所巡回相談 ・浸水地域訪問 ・健康教室、講座 ・こころとからだの相談会の開催(各保健センターでの相談受付)
- ▶ ハイリスクアプローチ
 - ・要フォロー者への受診勧奨等

● 外部有識者の知見・過去の大規模災害を教訓にした取組の強化

災害時に求められる保健活動、避難生活の長期化に伴う健康障害の防止等に関し、発災後からの情報を共有し、有識者からの助言を得て取組に活かしていくため、研究会を開催

(1) 災害時に求められる保健活動の実践に関する研修会(R2.1.22)

- ・ 長野保健福祉事務所管内市町村保健師等対象
講師 千葉大学大学院看護学研究科 教授 宮崎 美砂子 氏

(2) 健康障害の防止に係る研究会(R2.2.7)

- ・ 被災市町村保健師、社協職員等対象
講師 北海道立病院局病院経営課人材確保対策室長兼医療参事
石井 安彦 氏(前 北海道苫小牧保健所長)



【取組の進捗状況】

- 被災者のための「こころ・法律・仕事」の相談会
 - ・ 相談員 弁護士、精神科医、まいさぼ、保健師、市町村職員
 - ・ 実績

	R元年度				R2年度	
開催日	12/7 (土)	12/15 (日)	1/25 (土)	1/26 (日)	12/12 (土)	12/20 (日)
開催地	佐久穂町	飯山市	須坂市	長野市	長野市	千曲市
対象地域	佐久・上小	北信	長野・上小	長野・上小	長野	長野
相談者数 (件数)	2 (2)	3 (5)	5 (8)	9 (13)	6 (5)	9 (9)

【課題・今後の取組】

- 周知・広報の工夫
 - 周知期間の確保 ○マスコミ等を活用した広範囲な周知 ○目立つチラシの作成
- 相談会後の継続支援
 - 県・市町村スタッフ間での相談内容の共有 ○専門・関係機関へのつなぎ
- 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に配慮した開催方法の検討

2-2 医療機関・福祉施設等の復旧支援

【取組の進捗状況】

(1) 総合リハビリテーションセンターの復旧

病棟、施設棟等の1階が床上浸水し、受変電設備、ボイラー、機械設備、多数の医療機器等が浸水。

<復旧状況>

- ・ 令和元年10月16日 更生相談室の業務を再開
- ・ 令和元年11月 6日 補装具製作施設の業務を再開
- ・ 令和元年11月11日 外来診療を再開
- ・ 令和元年12月28日 施設部門の入所者等の受入を再開
- ・ 令和2年 3月30日 病棟での患者の受入を再開

被災時



正面駐車場



被災時

復旧後

病棟1階

被災時

復旧後



CT

すべての施設が復旧し、令和2年3月30日から通常どおりの運営を再開。

【取組の進捗状況】

(2) 長野県障がい者福祉センター(サンアップル)の復旧

屋外施設(陸上競技場、テニスコート等)が浸水。屋内施設(体育館、ホール棟)は1階が床上浸水し、機械設備や備品の一部が浸水。

<復旧状況>

- ・ 令和元年11月 9日 北信地域の出張スポーツ教室「サンスポートながの」を再開
- ・ 令和2年 1月 11日 トレーニング室、卓球室、遊戯室、会議室、宿泊室、アーチェリー場、陸上競技場を再開



被災時

正面玄関



復旧後



被災時

廊下



復旧後



被災時

テニスコート



復旧後



被災時

トレーニング室



復旧後

体育館・ホール・プールの耐震化工事(吊天井補強)も完了し、すべての施設を再開。
(令和2年7月にホール・プール、令和2年8月に体育館を再開)

【取組の進捗状況】

(3) 社会福祉施設等の復旧

<医療施設>

被害状況
病院、診療所、歯科診療所 計17施設 ○床上浸水11施設 ○床下浸水等 6施設



復旧状況
16施設完了

※1施設が廃止

<高齢者施設>

被害状況
計33施設 ※軽微な損壊除く ○床上浸水 28施設 (うち利用者向け施設21) ○床下浸水 5施設



復旧状況
32施設完了

※1施設が廃止

<障がい者施設>

被害状況
グループホーム、通所施設 計13施設 ○床上浸水 8施設 ○床下浸水 5施設



復旧状況
13施設完了

※医療施設、高齢者施設及び障がい者施設において、申請のあった全ての施設に対し、補助が完了。

<児童福祉施設>

被害状況

保育所 計5施設 ※軽微な損壊除く
○床上浸水4施設 ○床下浸水1施設

子育て支援センター、放課後児童クラブ
計4施設 ※軽微な損壊除く
○床上浸水4施設



復旧状況

		完了	復旧見込み(R3年度以降)
長野	1		長野1(R5.4月)
千曲	1		千曲1(R4.4月)
飯山	1(プール)		
須坂	1		
長野	1		長野1(R5.4月)
千曲	1		

※復旧が完了していない保育所は、仮設園舎又は他の施設で保育を実施。放課後児童クラブは他の施設で実施。

<千曲市>

杭瀬下保育園

被災後



R2.10末時点

現況(竣工後)



<飯山市>

しろやま保育園

被災後



R2.8.末時点

現況(竣工後)



【課題・今後の取組】

● 再開に向けた支援

<児童福祉施設> 災害復旧事業補助金を活用して引き続き復旧工事を支援

2-3 住宅再建

【取組の進捗状況】(R3.9.1時点)

□ 応急的な住まいの提供・住宅の応急修理の状況

区分	入居戸数		公営住宅等(※1)		応急仮設住宅(※2)		計	応急修理	
	県営	市町村営	賃貸型	建設型	賃貸型	建設型		申込	完了
長野市	12	12	297 (52)	51 (21)	372 (73)		1,165	1,165	
長野市以外	1	3	34	—	38		629	629	
計	13	15	331	51	410		1,794	1,794	
提供戸数累計	92	155	646	91	984		完了割合	100%	

※1 原則1年間（自宅等再建工事未完了者及び災害公営住宅入居予定者は、延長で対応）

※2 最大2年間（内閣府協議により長野市で73戸を1年延長）

（注）表中の（ ）内の数値は内数で延長対象の戸数

建設型応急仮設住宅



【木造】



【プレハブ】

現地相談の状況



□ 住宅相談の実施

総合住宅相談	建築、不動産、税務、法務等の専門家による机上相談	2市12回、相談者数：178人
現地相談	被災住家にて、復旧・復興の具体的なアドバイス等を実施	相談件数：153件

□ 災害復興住宅建設事業補助金(一部利子補給)：建設・購入 79件、補修 50件

□ 環境配慮型住宅助成金の活用：建設 1件、リフォーム 23件

□ 各種支援制度等の情報発信：市町村広報誌・チラシ、窓口案内等



各種情報発信

【課題と今後の対応】

住宅再建状況（半壊以上世帯対象）

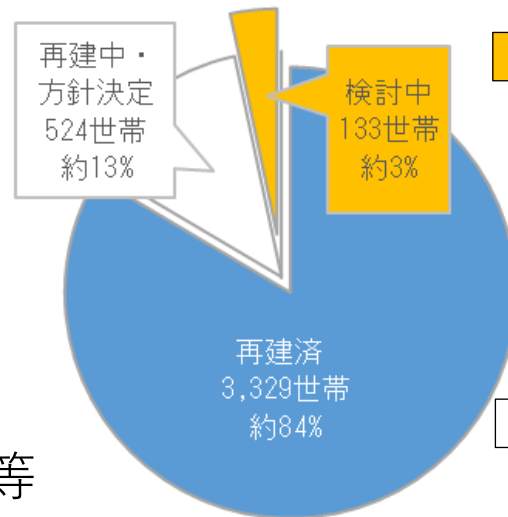
《令和3年7月31日現在：市町村聞き取り》

《課題》住宅再建が決められない世帯への対応

＜主な理由＞

- ・ 家族の意見がまとまらない
- ・ 資金不足（高齢でローンが組めない等）
- ・ 治水対策への不安

半壊以上：3,986世帯



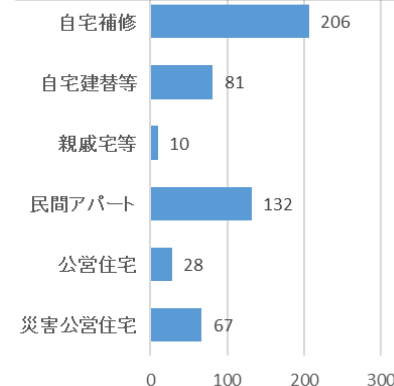
検討中133世帯の内訳

現在の住まい	世帯数
自宅等	88
応急仮設住宅	45
計	133

[対応]個別対応と連携の強化

- ・ 市町村及び福祉部門との情報共有と連携
- ・ 県ささえあいセンターと連携し、戸別訪問等による相談対応、公営住宅の斡旋、各種情報提供を実施

再建中・方針決定524世帯の内訳



[対応]災害公営住宅の建設(長野市)

- ・ 市営住宅美濃和田団地 73戸（R3.11中旬完成見込み）
- ・ 長沼地区への追加建設要望に係る住民対話の実施

《課題》賃貸型応急住宅入居者への対応

[対応]継続入居者の契約切替支援

[対応]個別対応と連携の強化【再掲】

市町村名	賃貸型 入居数	退去時期						
		R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4以降
長野市	297	31	178	49	9	5	5	20
長野市以外	34	12	7	9	4	0	0	2
合計	331	43	185	58	13	5	5	22

参考：長野市では、今災害で設置した復興局により、仮設住宅や応急修理の情報と被災者の各種世帯情報を全庁横断的に情報共有し細やかな支援対応を実施

2-4 災害廃棄物の処理

【取組の進捗状況】

● 災害廃棄物処理の推進

- ・災害廃棄物について、被災市町村では片付けごみの処理及び公費解体が終了見込み。(令和3年9月末)
- ・現在、長野市において、公費解体及び災害廃棄物の仮置場からの撤去を行っている。

被害状況 16市町村

進捗状況

完了 (R3年8月末時点)	完了見込み
	R3年9月末まで
15	1

発災後2年間での処理完了を目標

長野市(赤沼公園)



令和元年10月26日時点

千曲市(旧名月荘跡地)



令和元年11月7日時点



令和元年12月27日時点



令和元年11月18日時点

3 「生業」の再建

3-1 産業の復興

【取組の進捗状況】

● 被災の状況

- 被災中小企業等 888者、被害額 46,416百万円(令和2年1月31日現在)

● 事業の再開状況

- 被災事業者の復旧状況



※ その他：他の要因で休業、廃業など

● 支援制度の活用

- グループ補助金(県)：認定36グループ、交付決定 319者、うち令和3年度への繰越28者
繰越事業者の状況：事業完了21者、残る7者も年内に事業完了予定
- 企業再建補助金(県)：交付決定 67者(全て事業完了済み)
- 持続化補助金・台風19号型(国)：採択事業者 503者

※ 商工会・商工会議所を通じて補助

【取組の進捗状況】

- 主な復旧事例 グループ補助金の新分野事業を活用し、生産能力を維持しスペースを捻出
→ 国の新分野展開関連の補助金を活用して事業拡大予定



企業再建補助金で開発した新商品を販売開始



BCP策定の勉強会（グループ活動）

3-2 農業の復興

【取組の進捗状況】

● 農地・農業用施設の復旧状況

- ・ 災害復旧工事は、市町村が事業主体となり、国庫補助災害復旧事業を活用することを基本とし、国庫補助の要件を満たさない小規模な復旧工事は、市町村が単独事業として実施
- ・ 国庫補助災害復旧事業は、災害発生年度を含め3か年(令和元年度～3年度)で復旧工事を完了する計画であり、復旧が必要な3,667か所(農地2,911か所、農業用施設756か所)のうち、令和3年8月末までに3,272か所(農地2,798か所、農業用施設474か所)(89.2%)が完了

<農地の復旧状況> (令和3年8月末)

項目	田	畑	計
被害箇所数 (か所)	2,827	4,199	7,026
面積 (ha)	538	1,121	1,659
被害額 (百万円)	6,533	21,031	27,564
国庫補助箇所数 (か所)	558	2,353	2,911
工事着手箇所数 (か所)	557 (99.8%)	2,352 (99.9%)	2,909 (99.9%)
工事完了箇所数 (か所)	516 (92.5%)	2,282 (97.0%)	2,798 (96.1%)



- ・ 千曲川沿い6市町における果樹園等の土砂撤去が完了
- ・ 河川の氾濫により流失した農地は、建設部など河川管理者が行う河川復旧工事と連携して復旧

<農業用施設の復旧状況> (令和3年8月末)

項目	頭首工	水路	用排水機場	農道	ため池等	計
被害箇所数 (か所)	771	1,769	60	697	42	3,339
被害額 (百万円)	13,223	5,064	6,672	3,418	227	28,604
国庫補助箇所数 (か所)	330	224	37	140	25	756
工事着手箇所数 (か所)	330 (100%)	223 (99.6%)	37 (100%)	138 (98.6%)	25 (100%)	753 (99.6%)
工事完了箇所数 (か所)	129 (39.1%)	178 (79.5%)	35 (94.6%)	111 (79.3%)	21 (84.0%)	474 (62.7%)

佐久穂町

復旧前



復旧完了



【頭首工(河川から農業用水を取水する施設)】

- 河川の氾濫により損壊又は流失した頭首工は、建設部など河川管理者が行う河川復旧工事と連携して復旧
- 営農再開までに本復旧が間に合わない頭首工については、仮設水路など仮復旧により農業用水を確保

長野市 (長沼排水機場)

復旧前



復旧完了



【用排水機場】


- 河川の氾濫により損壊した用排水機場は、ポンプ設備、建屋等を復旧
- 浸水により故障した制御盤などについては、同規模の災害で再び浸水しないよう浸水防止対策(電気設備の高所化等)を実施


【令和3年8月大雨の影響】





● 令和元年東日本台風災害では堤外地・堤内地の広い範囲で浸水が発生

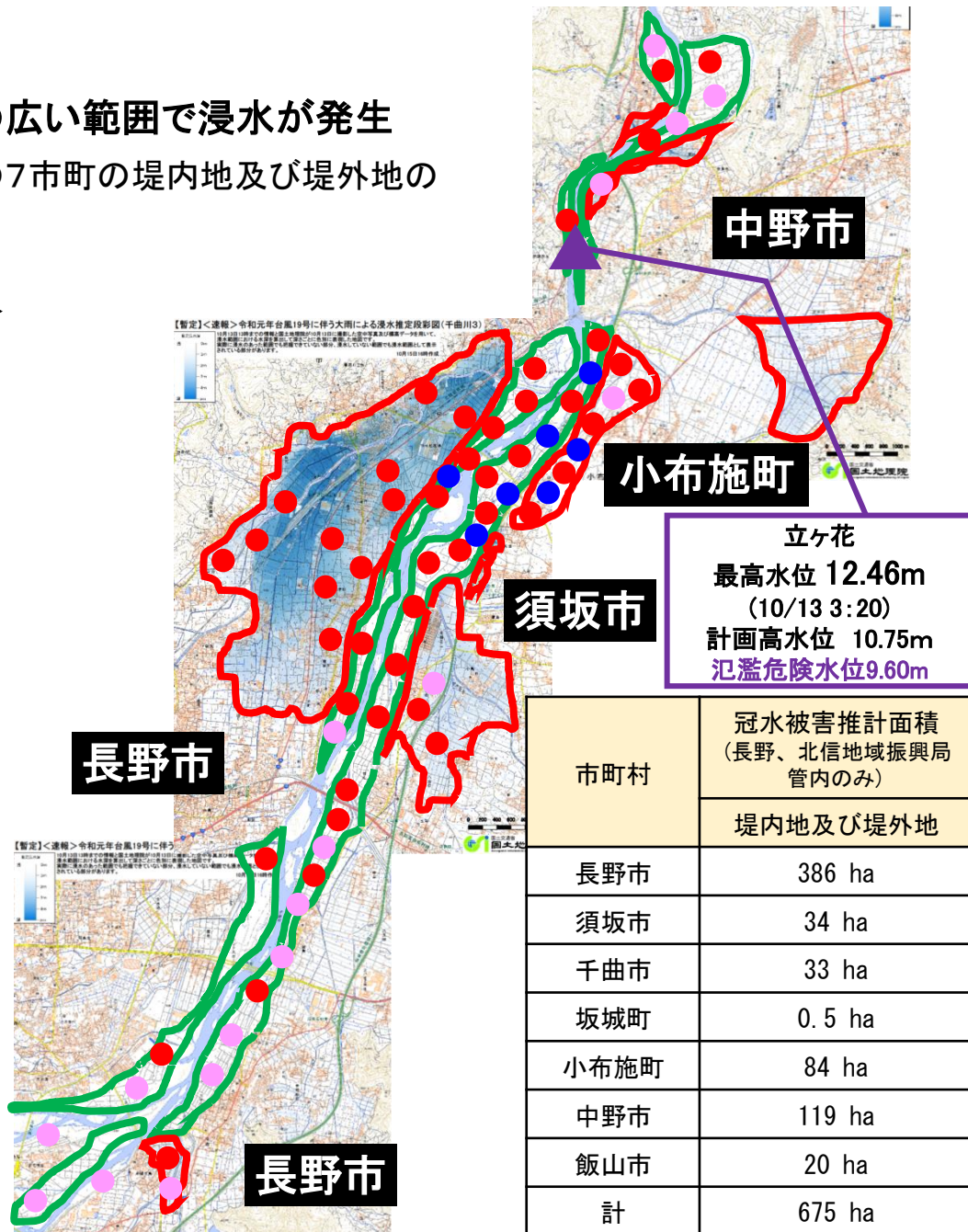
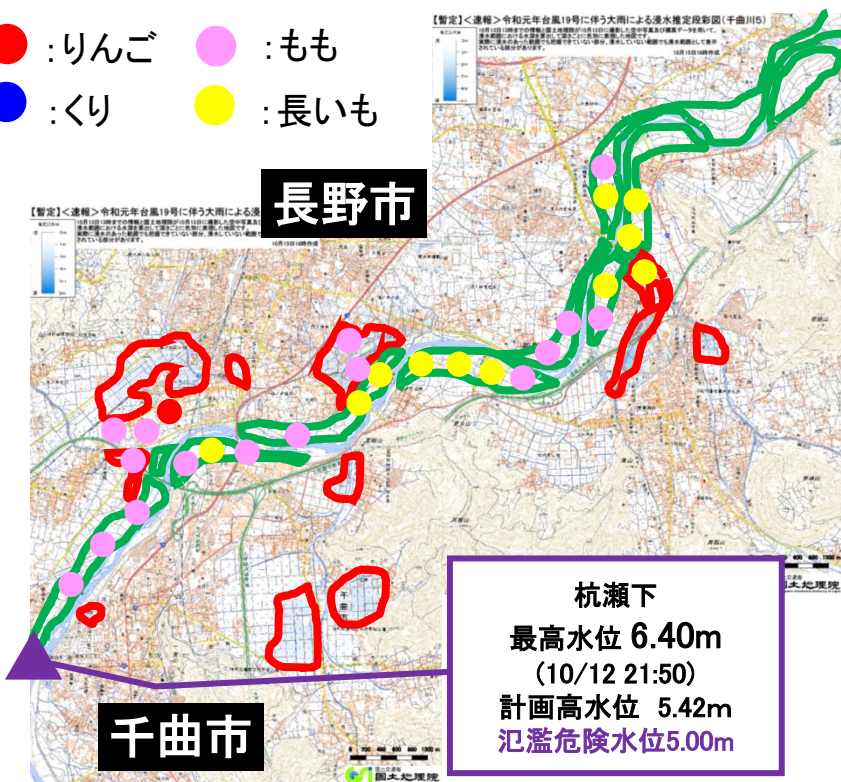
- ・ 長野、北信地域振興局管内において、千曲川沿いの7市町の堤内地及び堤外地の675haで農作物の冠水被害が発生

＜令和元年東日本台風による浸水エリア(推定)＞

 : 堤内地における浸水推定範囲

 : 堤外地における浸水推定範囲

-  : りんご
-  : もも
-  : くり
-  : 長いも



市町村	冠水被害推計面積 (長野、北信地域振興局管内のみ)
	堤内地及び堤外地
長野市	386 ha
須坂市	34 ha
千曲市	33 ha
坂城町	0.5 ha
小布施町	84 ha
中野市	119 ha
飯山市	20 ha
計	675 ha


※地図の出典は国土地理院HPで公表しているR1東日本台風災害の浸水推定図であり、囲み線は浸水推定図に基づき農政部が推定して記載

● 令和3年8月大雨では堤外地のみで果樹と野菜の冠水被害が発生

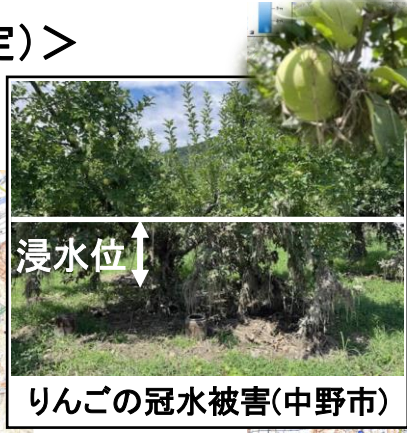
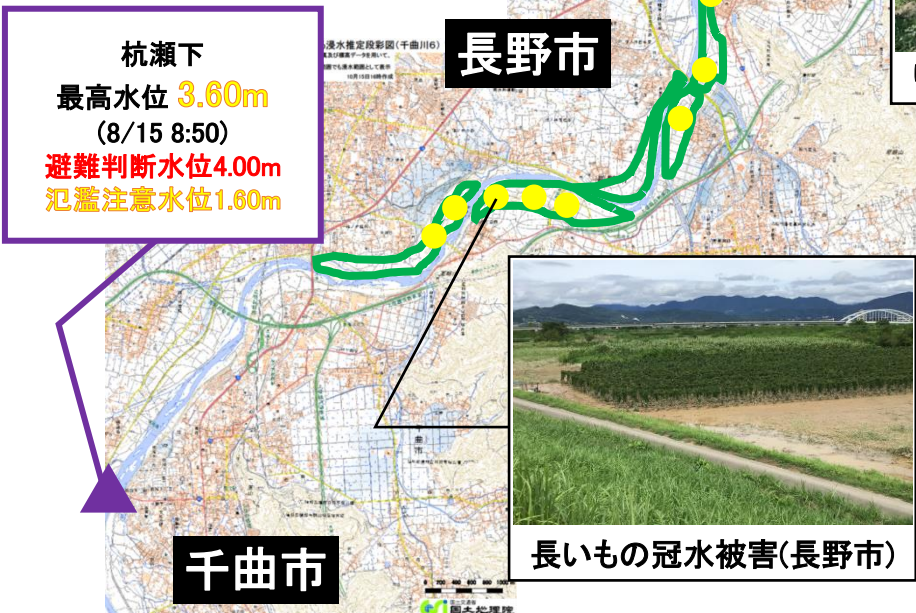
- ・ 千曲川沿いの4市町の堤外地171ha(無堤地を含む)の果樹(りんご、もも、くり)、野菜(長いも)などで冠水による被害が発生
- ・ 千曲川沿いの観測所における最高水位は氾濫危険水位に達しなかったが、**低い場所にある堤外地の農地が冠水**
- ・ 被害に遭われた農業者に対して、農業農村支援センターが生産者団体と連携し、来年の収量を確保するための農薬防除など、**今後の栽培管理等について技術指導を実施**

※冠水した被害果実は出荷しないよう、生産者団体と連携して呼びかけを実施

<令和3年8月大雨による冠水被害エリア(推定)>

 : 堤外地における冠水被害推定範囲

- : りんご
- : もも
- : くり
- : 長いも



市町村	冠水被害推計面積	
	堤内地	堤外地
長野市	-	58.3 ha
須坂市	-	28.5 ha
小布施町	-	52.5 ha
中野市	32.1 ha (無堤地)	
計	171 ha	

※地図の出典は国土地理院HPで公表しているR1東日本台風災害の浸水推定図であり、囲み線は浸水推定図に基づき農政部が推定して記載

3-3 観光の復興

【取組の進捗状況】

1 令和元年東日本台風災害への対応(令和元年度の取組)

● 旅行・宿泊商品に対する支援(割引)による需要喚起

・「ふっこう割」による国内外の旅行者を対象にした商品の販売【観光部】

(令和元年12月17日～令和2年3月14日宿泊分(12/28～1/3宿泊分を除く))



○販売(割引)額 3億6,672万円(国内客2億8,582万円、海外客8,090万円)

○延べ宿泊者数 80,971人泊(国内客61,648人泊 海外客 19,323人泊)

・信州まつもと空港発着路線を利用した応援ツアーの造成【企画振興部】

● 心を一つにするためのアイコン「ONE NAGANO」の発信【営業局】

・民間放送局5局連携テレビCM「ONE NAGANO CMキャンペーン」



● 物産・観光両面からの被災地支援

・無印良品銀座での被害りんご販売【営業局】

・JR長野駅への被災農家応援バナー掲出【営業局】



ONE NAGANO CMキャンペーン



被災農家応援バナー



被害りんご販売



応援ツアー造成

2 台風災害をはじめ、昨冬の少雪や新型コロナウイルス感染症の影響等へ対応

—新型コロナウイルス感染防止対策にがんばって取り組む事業者を応援—

(令和2年度からの取組)

● 旅行・宿泊商品に対する支援(割引)による需要喚起

(1) 宿泊割【観光部】(R3.8末時点)

・「県民向けふっこう割(R2.6)」から「県民支えあい信州割SPECIAL(現在)」まで、11事業で切れ目のない支援 (延べ20億6,639万円/420,434人泊)

(2) 観光クーポン、アクティビティ割引【観光部】

・観光クーポン(R2.7~R2.9) (3億5,524万円/710,869枚)
・冬のアクティビティ割引&スキーリフト券半額キャンペーン(R2.11~R3.4)
(3億2,318万円/116,014人)



県民支えあい信州割
SPECIAL



被災地りんごの販売

● 物産・観光両面からの被災地支援

(1) 銀座NAGANO6周年感謝祭での取組【営業局】

① 被災地りんごの販売(10月24日~25日)

・千曲川流域で収穫された「シナノスイート」、「シナノゴールド」を店頭にて1個100円で販売

② 知事によるりんごPR(10月25日)

・被災地支援への感謝の気持ちを込めて、店頭にて、知事より被災地りんごをお客様にプレゼント

(2) 長野市復興記念事業「いまこそ応援「がんばろうNAGANO」2020」への支援

・被災地デジタルスタンプラリー(10~11月) ・被災地物産展(11月7日~8日)

【課題と今後の取組】

- ・感染状況に応じて切れ目なく施策を実施し、被災地をはじめとした県内観光需要の早期回復を図る。
- ・「Afterコロナを見据えた観光振興方針」に基づき、長期滞在型観光の推進やリピーターの獲得に向け、新たな観光ニーズに合わせた需要喚起や地域連携等による新規誘客を推進

4 インフラの復旧

4-1 インフラの復旧

【取組の進捗状況】

● 災害復旧事業(改良復旧除く)

- ・災害復旧工事(市町村工事を含む)は約99%に着手し、約86%が完成
- ・県が管理する河川、砂防災害のうち、背後地等に人家や公共施設がある優先度の高い現場は概ね完了
- ・河川災害箇所は令和4年の出水期までには完了する見込み

【被災箇所における住民の警戒・避難体制】

- ・復旧中の箇所においては、雨量計や水位計、土石流センサー等を設置し、危険な状況となった場合に避難を呼びかける連絡体制を構築

令和3年8月末時点

災害復旧工事 5,257箇所	着手	5,227 99.5%		期間 R元~R3年度 復旧費 約967億円
	完了	4,516 86.0%		

事業種別 進捗状況 ※箇所数により算出。改良復旧の親災を除く。復旧費は査定決定額による。

項目	箇所数	上段 : 済・率 (本工事着手)	下段 : 済・率 (工事完了)	備考 (復旧事業の概要等)
河川	780	779 99.9%	602 77.2%	期間 R元~R3年度 復旧費 約287.3億円
道路	440	435 98.9%	399 90.7%	期間 R元~R3年度 復旧費 約87.5億円 橋梁 : 29ヵ所
砂防	67	67 100%	40 59.7%	期間 R元~R3年度 (災害関連はR2年度) 復旧費 約50.3億円
林務施設	226	212 93.8%	137 60.6%	期間 R元~R3年度 復旧費 約28億円
農地	2,911	2,909 99.9%	2,798 96.1%	期間 R元~R3年度 復旧費 約169.6億円
農業用施設	756	753 99.6%	474 62.7%	期間 R元~R3年度 復旧費 約149.3億円
下水	44	44 100%	38 86.4%	期間 R元~R3年度 復旧費 約183.4億円 (農業集落排水含む)
都市公園	19	19 100%	19 100%	期間 R元~R2年度 復旧費 約7.8億円
公営住宅	9 〔団地数〕	9 100%	9 100%	期間 R元~R2年度 復旧費 約3.7億円

【取組の進捗状況】

● 災害復旧事業(河川)

おおさわしもまち

・一級河川 大沢川 佐久市 大沢下町



発災直後(令和元年10月)



令和3年7月竣工

(Build Back Betterのポイント)

側方浸食などの被災原因を考慮し、コンクリート護岸とすることで壊れにくい護岸となり、再度災害防止を図った。

【取組の進捗状況】

● 災害復旧事業(道路)

県管理道路の規制状況

台風による規制	R3.9.1時点の規制
87路線131区間 (事前規制除く)	3路線3区間 (全面通行止め)

解除見込み

R2年度	R3年度
3区間※	※2区間は冬期閉鎖区間のため、令和3年度解除
	3区間
	3区間

※天候等の影響により変更となることがあります

主要地方道 丸子東部インター線 東御市 田中橋



発災直後(令和元年10月)



開通(令和2年3月)

(Build Back Betterのポイント)

河床洗堀などの被災原因を考慮し同等規模の台風でも侵食を受けないよう、ブロック積みを深く設置することにより再度災害防止を図った。

【取組の進捗状況】

● 改良復旧事業

長野県 令和3年8月末時点

- ・佐久市田子川等16箇所(市町村2箇所含)で改良復旧事業を実施
- ・令和3年度から令和6年度の完成目標で事業を推進し、2箇所が完了



事業	路線・河川名	市町村	箇所	内容	地元説明	測量設計	用地調査	用地補償	工事
災害復旧助成事業	(一) 谷川	佐久市	入沢	護岸	済	済	済	済	済
	(一) 田子川	佐久市	常和	護岸	済	済	済	済	済
	(一) 滑津川	佐久市	石神	築堤・護岸	済	済	済	済	済
	(一) 千曲川(上流)	佐久市	桜井	遊水池	実施中	実施中	未着手	未着手	未着手
	(一) 千曲川(下流)	野沢温泉村 栄村～飯山市	東大滝工区 箕作・月岡工区	築堤・護岸	済	済	済	済	済
災害関連事業	(準) 南沢(砂防)	佐久市	常和南	溪流保全	済	済	済	済	済
	(一) 沢山川	千曲市	雨宮	矢板護岸	済	済	-	-	済
	(一) 余地川	佐久穂町	余地	護岸	済	済	済	済	済
	(一) 抜井川、余地川合流	佐久穂町	海瀬	護岸	済	済	済	済	済
	(一) 抜井川	佐久穂町	向原	護岸	済	済	済	済	済
	(主) 梓山海ノ口線	川上村	男橋	橋梁	済	済	-	-	済
	(準) 小川(砂防)	川上村	居倉	溪流保全	済	済	済	済	済
	(主) 大町麻績インター千曲線	生坂村	込地	拡幅	済	済	-	-	済
	(主) 豊野南志賀公園線	高山村	八滝	拡幅	済	済	済	済	済
災害関連事業(市町村)	(市) 布下滋野線	東御市	布下橋	橋梁新設	済	済	済	済	済
	(普) 高岡川	長野市	若穂保科	護岸	済	済	済	済	済

【取組の進捗状況】

● 改良復旧事業(完了箇所)

・主要地方道 大町麻績インター千曲線 生坂村 込地

○事業内容

復旧延長 L=30m(災害復旧L=16m改良復旧L=14m)
張出ブロック設置L=30m
基礎鋼管杭工N=30本
舗装工L=30m



発災直後(令和元年10月)



工事竣工(令和2年10月)

(Build Back Betterのポイント)

被災箇所(L=16m)とその前後の未災箇所(L=14m)を含む区間の道路擁壁等を一連で改築し、降雨に強くすることにより再度災害防止を図った。

【取組の進捗状況】

● 改良復旧事業(完了箇所)

あめのみや

・一級河川 沢山川 千曲市 雨宮

○事業内容

復旧延長 L=232m(災害復旧L=155m改良復旧L=77m)

コンクリートブロック張り工L=232mA=2,389m²

遮水矢板工L=232m



(Build Back Betterのポイント)

被災箇所(L=155m)とその前後の未災箇所(L=77m)を含む区間のコンクリートブロック張り護岸を一連で改築し、洪水に強くすることにより再度災害防止を図った。

【取組の進捗状況】

● 改良復旧事業(工事中箇所)

むかいばら

・一級河川 抜井川 佐久穂町 向原

○事業内容

復旧延長 L=333m

コンクリートブロック積工 L=415mA=2, 142m²

水制工 N=13基

橋梁工 N=1式



発災直後(令和元年10月)



工事中(令和3年8月)

(Build Back Betterのポイント)

狭窄部となっている橋の架替及び河道拡幅により流下能力を向上させ再度災害防止を図っている。

【取組の進捗状況】

● 土砂災害対策

- ・緊急に行う土砂災害対策として、全23箇所着手済。
- ・13箇所土砂災害対策施設が完成。
- ・10箇所砂防堰堤等の本体工事を実施中。
- ・さらに継続して行う土砂災害対策として、令和2年度に15箇所を新規採択し、調査設計を実施中。
- ・令和3年度以降、順次、砂防堰堤等に着手予定

【施工状況】

災害関連緊急砂防事業

○上田市 見切沢 虚空蔵



(Build Back Betterのポイント)
流出した土砂が再度流れ出すのを防ぐため、砂防堰堤等を整備



【施工状況】

災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業

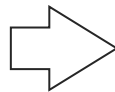
○佐久市 入沢口区域 入沢

(Build Back Betterのポイント)
がけ崩れの拡大を防ぐため、法面工等を整備



【取組の進捗状況】

● 林道施設災害復旧事業 路肩決壊の復旧



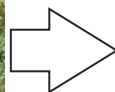
林道水谷線2号箇所(南佐久郡北相木村)
幅員:3.6m、延長:75m 被害額5,450千円

【復旧工法】 盛土369 m^3 、コンクリート路面工231.3 m^2 、かご枠工32mほか

(Build Back Betterのポイント)

雨水の集中による林道の路面・路肩決壊などの被災形態を考慮し、かご枠工設置による法面の安定及び緑化工により路肩決壊の防止を図った。

● 災害関連緊急治山事業 山腹崩壊の復旧



松本市 保福寺峠

【復旧工法】 山腹工0.06ha
土留工(大型フンカゴ)2基、伏工604 m^2 、
筋工137m、水路工32m

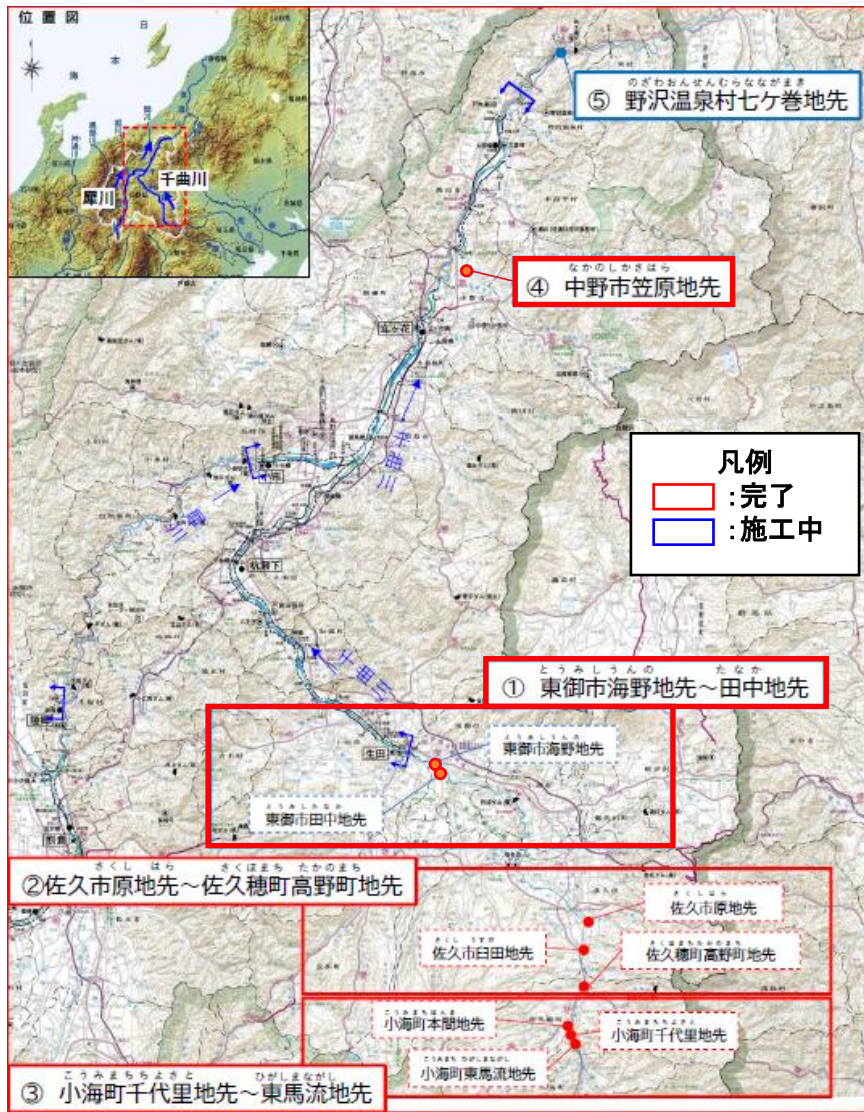
(Build Back Betterのポイント)

法面への集中豪雨により崩壊した山腹法面において、斜面の風化、侵食及び崩壊の防止を目的とした「土留工」や「伏工」等を施工して、山腹の復旧を図った。

【取組の進捗状況】

● 権限代行箇所(河川)

長野県知事から国土交通省に要請を行い、令和元年10月20日より権限代行により実施していた河川の災害復旧工事について、5地区のうち4地区の工事が完了し、北陸地方整備局から引き継いだ。



【取組の進捗状況】

● 権限代行箇所(道路)

長野県知事から国土交通省に要請を行い、令和元年10月29日より権限代行により実施していた道路の災害復旧工事について、2地区のうち1地区の工事が完了し、中部地方整備局から引き継いだ。



【課題】

- 災害復旧工事が本格化する時期における資機材の確保、調整

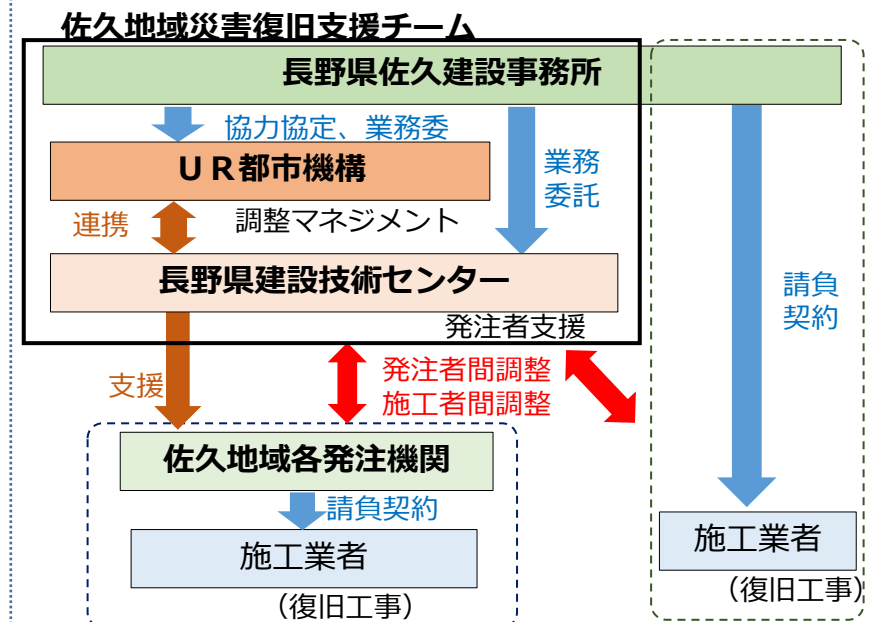
- 本格的な復旧工事の稼働により、生コンクリートやコンクリート二次製品等の資機材について、市町村、農業施設を合わせた確保、調整が必要

- 改良復旧の課題

- 用地買収や家屋移転が必要となる箇所が多いため、事業計画段階から地元説明会等を開催し、地域の了解を得ているが、引き続き、地権者との協議を丁寧に進めることが必要。

【今後の取組】

- 被災箇所が特に多かった佐久地域では、令和3年度も災害復旧工事マネジメント業務を引き続き導入し、工事の効率化や建設関連企業間の地域内での情報共有、連携強化を図る。
- 地域との連携を着実にを行い、事業進捗を図る。千曲川の遊水地整備においては、地域住民の理解を得ながら計画を策定し、早期着工を目指す。
- 被災から約2年が経過し、インフラの復旧も仕上げのフェーズに移りつつある。引き続き全箇所の早期完成を目指す。

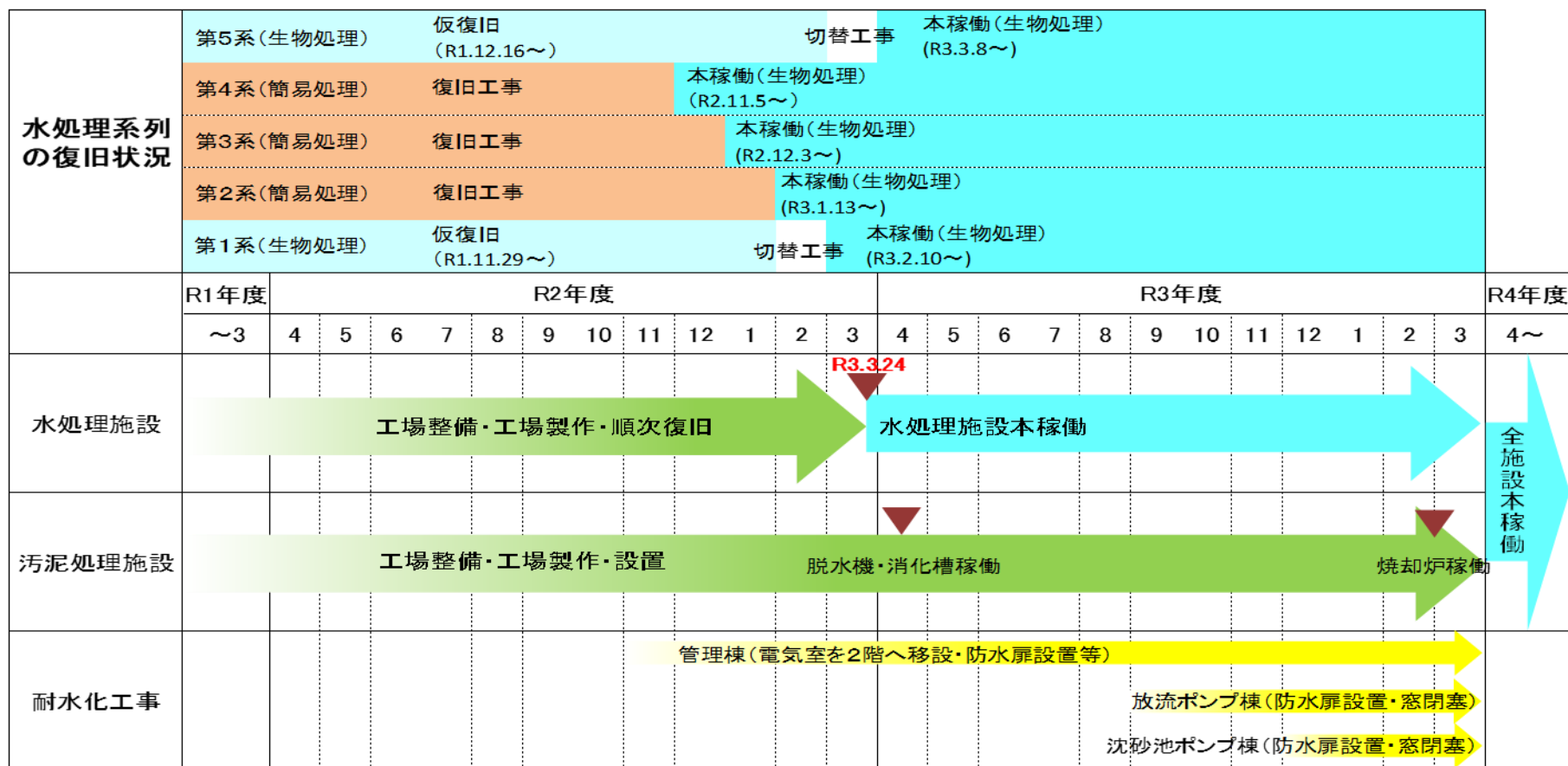


4-1 インフラの復旧（下水道）

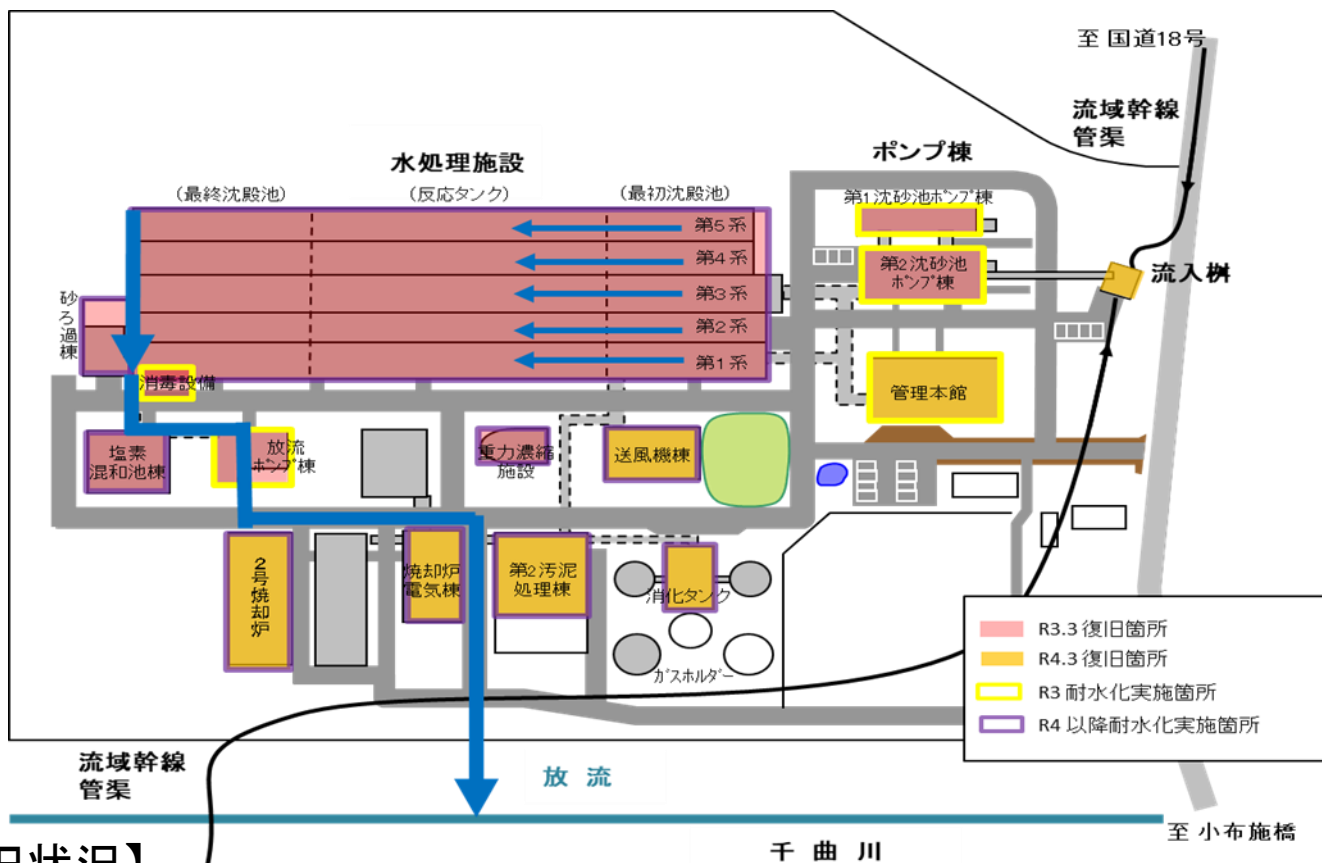
【取組の進捗状況】

● クリーンピア千曲の復旧

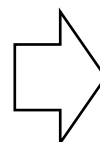
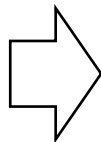
- ・ 令和3年3月24日から全水処理施設本稼働
- ・ 施設全体の復旧は令和4年3月末までに完了する計画



【取組の進捗状況】



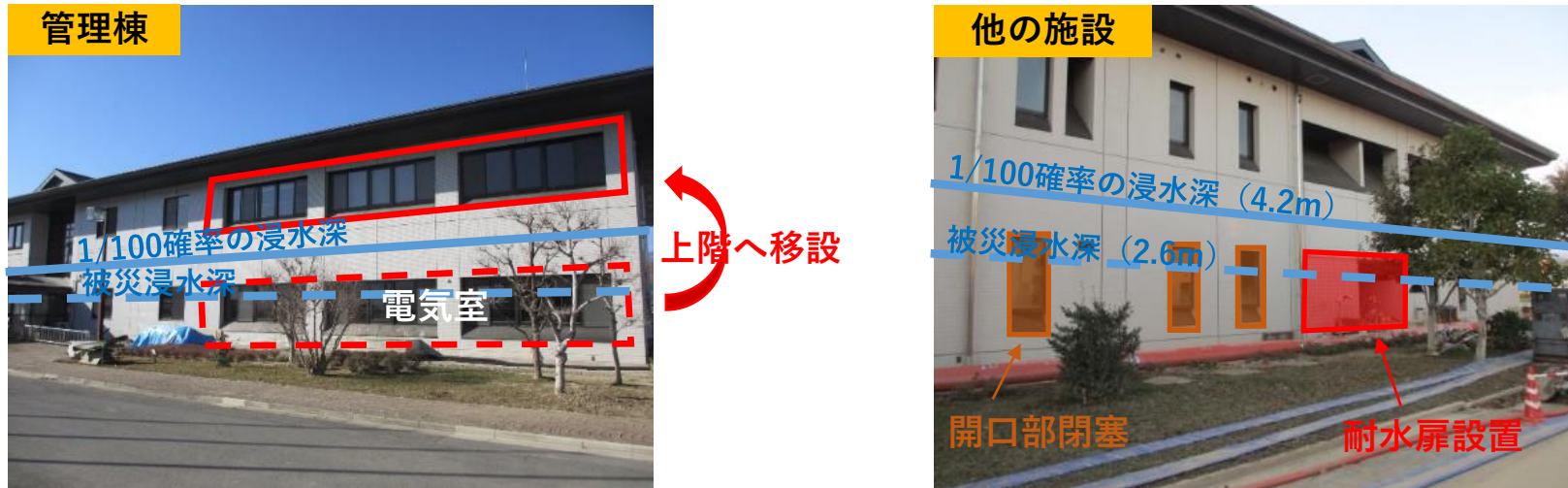
【水処理施設復旧状況】



【取組の進捗状況】

● 施設の耐水化

- 1/100確率の浸水に対応した施設の耐水化を並行して進める



(Build Back Betterのポイント)

再度の災害防止策として電気設備の上階への移設、耐水扉の設置、開口部の閉塞を行う

【課題・今後の取組】

- 地域等へ情報提供を行いながら、早期復旧を進めていく

4-1 インフラの復旧（鉄道）

【取組の進捗状況】

● 上田電鉄(株)別所線の復旧

- 千曲川左岸堤防の洗堀により、上田電鉄(株)別所線上田駅～城下駅間の橋梁が落橋。
- 非出水期に入った令和元年11月より、調査・測量、橋桁の撤去、堤防本復旧に合わせた橋台構築・橋脚補強等、復旧工事を順次実施。
- 復旧にあたり、橋梁を上田市が保有し、国の「特定大規模災害等鉄道施設災害復旧事業費補助金」を活用。
- 復旧工事は順調に進み、令和3年3月28日に全線運行再開。

上田電鉄(株)上田駅～城下駅間橋梁

(提供: 上田電鉄)

被災直後



R2.2月末時点



R2.6月末時点



R2.11月末時点



R3.1月末時点



R3.3月末時点



● 不通区間における代替輸送の実施

- 上田電鉄(株) 別所線 上田駅～下之郷駅間(R1.10.15～11.15)、しなの鉄道(株) しなの鉄道線 田中駅～上田駅間(R1.10.23～R3.3.27)、において、代替輸送を実施。

上田電鉄



運行期間	R1.10.15～R3.3.27	
輸送方法	バス	
利用者	上田～下之郷間 (R1.10.15～11.15)	2,950人/日
	上田～城下間 (R1.11.16～R3.3.27)	1,598人/日

しなの鉄道



運行期間	R1.10.23～11.14(23日間)	
輸送方法	バス・新幹線(便宜輸送)	
利用者	バス	1,076人/日(平日)
	新幹線	1,443人/日(平日)
備考	利用者は学生に限定	

【県の取組】

● 不通区間における代替輸送に対する支援

- 上田電鉄(株)別所線、しなの鉄道(株)しなの鉄道線全線運行再開までの間、バスによる代替輸送を継続し、国、沿線自治体とともに支援を実施

(上田電鉄支援)

(単位：千円)

	事業費	支援額		
		国 (1/3)	県 (1/3)	上田市 (1/3)
令和元年度	48,506	16,168	16,168	16,168
令和2年度	122,976	32,000	45,488	45,488

(しなの鉄道支援)

(単位：千円)

	事業費	支援額		
		国 (1/4)	県 (9/16)	沿線自治体 (3/16)
令和元年度	65,285	16,321	36,722	12,241

※ 令和2年度事業費及び支援額は見込額、また令和2年度国支援額は上限あり

【沿線地域等の主な取組(上田電鉄関係)】

- 募金活動、売上金の寄附(若林醸造 様、別所温泉旅館組合 様ほか)
- 別所線かけはしプロジェクト(長野大学生 有志の皆様)
- 「別所線」応援ポスターの作成(上田東ロータリークラブ 様)
- 上田市への寄附金(約8,200万円)※ ふるさと納税分
- 上田電鉄への寄附金(約1,700万円)※ ホームページ上募集分

【上田電鉄別所線全線開通】



祝 別所線
全線開通

(出発式典)

日 付：令和3年3月28日(日)

主な出席者：赤羽国土交通大臣、国会議員、
高橋東急電鉄株式会社社長、
阿部知事、伊藤企画振興部長



(提供：上田電鉄)

4-2 「流域治水」の推進

- 令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した信濃川水系において国、県、市町村が連携し、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進める。
- 国、県、市町村が連携し、①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】の取り組みを実施していくことで、信濃川本川及び千曲川本川の堤防で被災した区間で越水防止を目指す。



国土交通省資料より

■河川における対策

事業期間	令和元年度～令和9年度
目 標	【令和6年度まで】 令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における ・千曲川本川の大規模な浸水被害が発生した区間等において越水等による家屋部の浸水を防止 ・信濃川本川の越水等による家屋部の浸水を防止 【令和9年度まで】 令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における ・千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止
対策内容	河道掘削、遊水地、堤防整備・強化

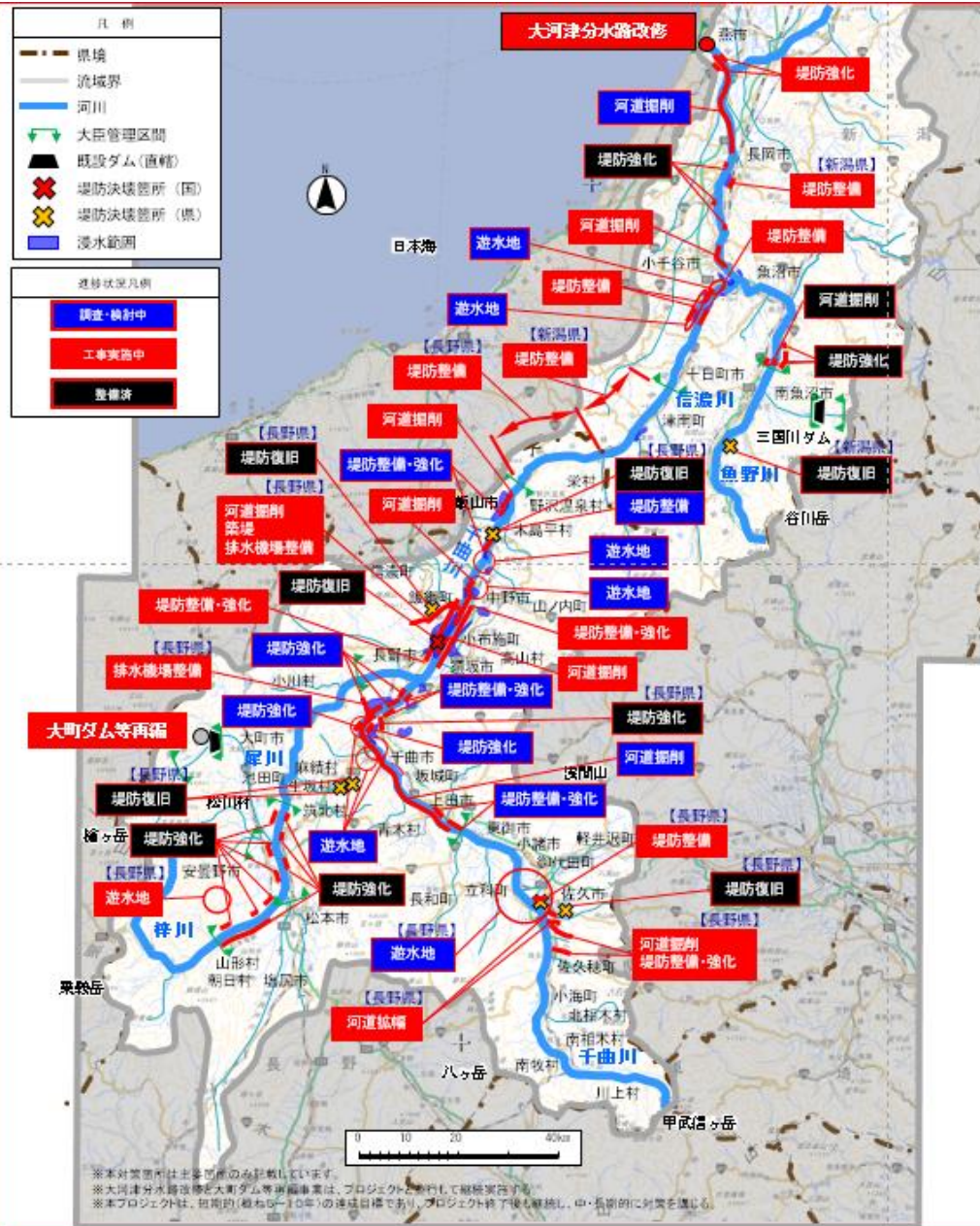
■流域における対策

- ・ため池等既存施設の補強や有効活用
- ・田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- ・学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- ・排水機場等の整備、耐水化の取組
- ・防災拠点等

■ソフト施策

- ・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
- ・高床式住まいの推進
- ・マイ・タイムラインの普及
- ・公共交通機関との洪水情報の共有
- ・住民への情報伝達手段の強化

【信濃川水系緊急治水対策プロジェクト 河川における対策 進捗状況】



■河川における対策

主な対策箇所

○直轄管理区間

- ・災害復旧 田中橋、海野等の権限代行箇所含む
- ・河道掘削 立ヶ花狭窄部等
- ・遊水地整備 千曲川中～下流に5箇所
- ・大町ダム等再編
- ・大河津分水路改修

○長野県管理区間

- ・災害復旧 各箇所
- ・改良復旧 谷川(佐久市)、田子川(佐久市)、滑津川(佐久市)、千曲川(栄村～飯山市)、余地川(佐久穂町)、抜井川(佐久穂町)、沢山川(千曲市)
- ・内水対策 浅川・三念沢(長野市)、岡田川(長野市)、皿川(飯山市)
- ・遊水地整備 黒沢川(安曇野市)、千曲川上流(佐久市)

○新潟県管理区間

- ・災害復旧 各箇所
- ・改良復旧 信濃川本川

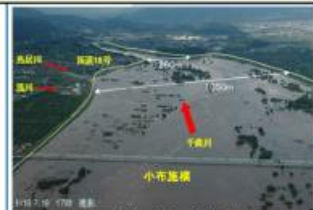
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト進捗状況
【R3.9時点(R3.7末状況)】

国土交通省 資料

【信濃川水系緊急治水対策プロジェクト 主要対策の進め方】

上下流や本川支川の信濃川流域全体を見据え、

- 立ヶ花狭窄部上流の緊急的な堤防強化（粘り強い河川堤防構造）
 - 下流から計画的に行う堤防整備や河道掘削（大河津分水路改修、立ヶ花狭窄部掘削）
 - 上流で洪水を貯留するダム（大町ダム等再編）や遊水地の整備
- といった河川におけるハード対策をフル動員し、各管理者が連携・調整しながら、段階的かつ緊急的に対策を講じる。



立ヶ花狭窄部掘削



堤防強化(粘り強い河川堤防)



大町ダム等再編事業



大河津分水路改修事業



信濃川中流遊水地群



千曲川下流遊水地群



千曲川中流遊水地群

黒沢川遊水地

千曲川上流遊水地

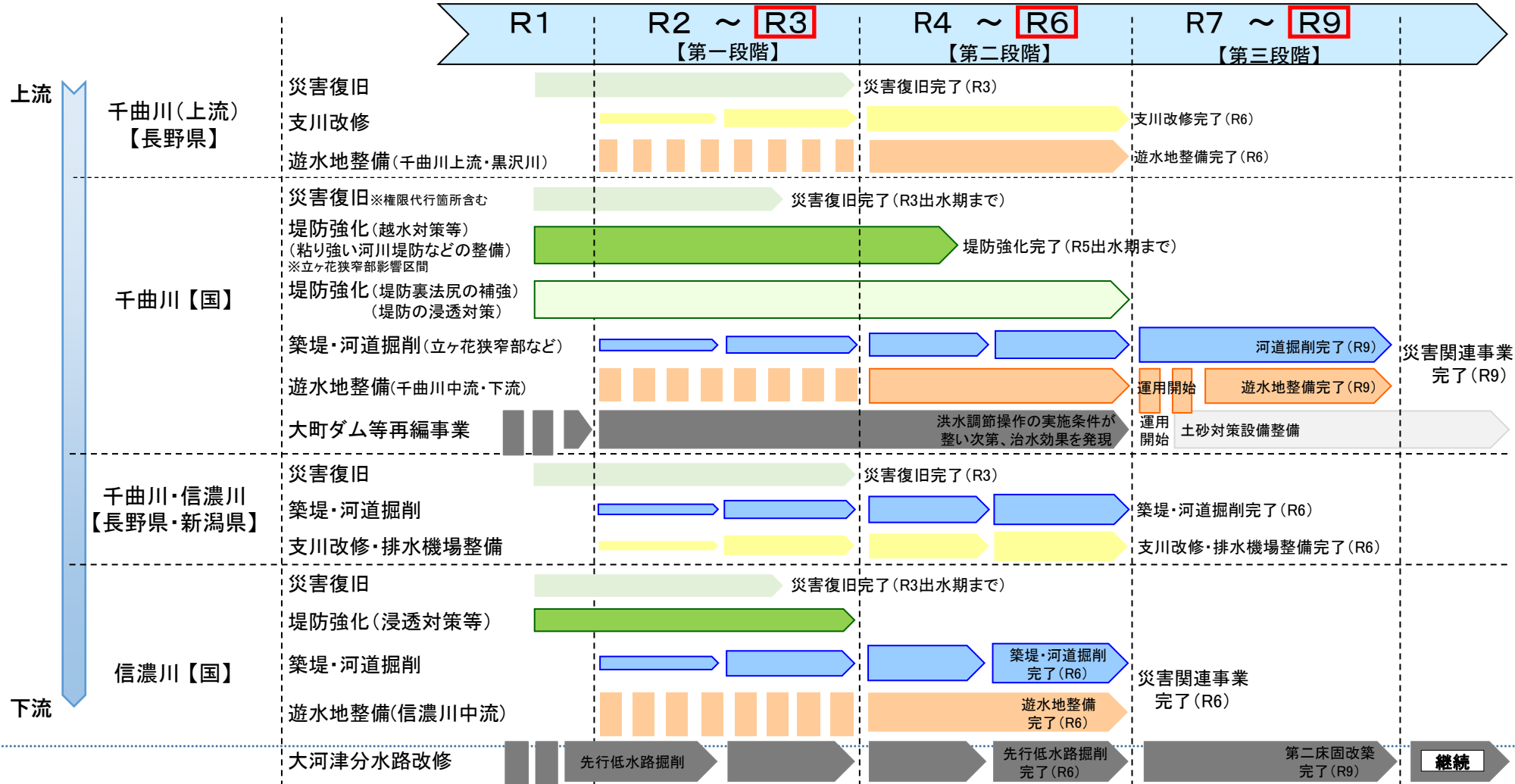
0 10 20 40km

凡例	
	流域界
	県境
	河川
	既設ダム(直轄)
	基準地点(高水)
	基準地点(低水)
	主要地点
	想定氾濫区域(国管理区間)
	大臣管理区間

国土交通省資料より

【信濃川水系緊急治水対策プロジェクト ロードマップ】

- 【第一段階(復旧)】 災害復旧を令和3年度までに完了(国(権限代行含む)は令和3年出水期まで、県は令和3年度)。並びに大河津分水路などの下流域の整備に応じた河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を順次実施
- 【第二段階(復興)】 改良復旧である堤防強化(粘り強い河川堤防構造など)や遊水地、大町ダム等再編事業(容量再編)を完了
- 【第三段階(復興)】 遊水地、河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を令和9年度完了



継続

● 長野県全体での「流域治水」の推進 ～「長野県流域治水推進計画」の策定～

趣 旨

関係者が意識を共有し、具体的な取組目標を定め、計画的に取り組む必要があることから、「長野県流域治水推進計画」を策定した。

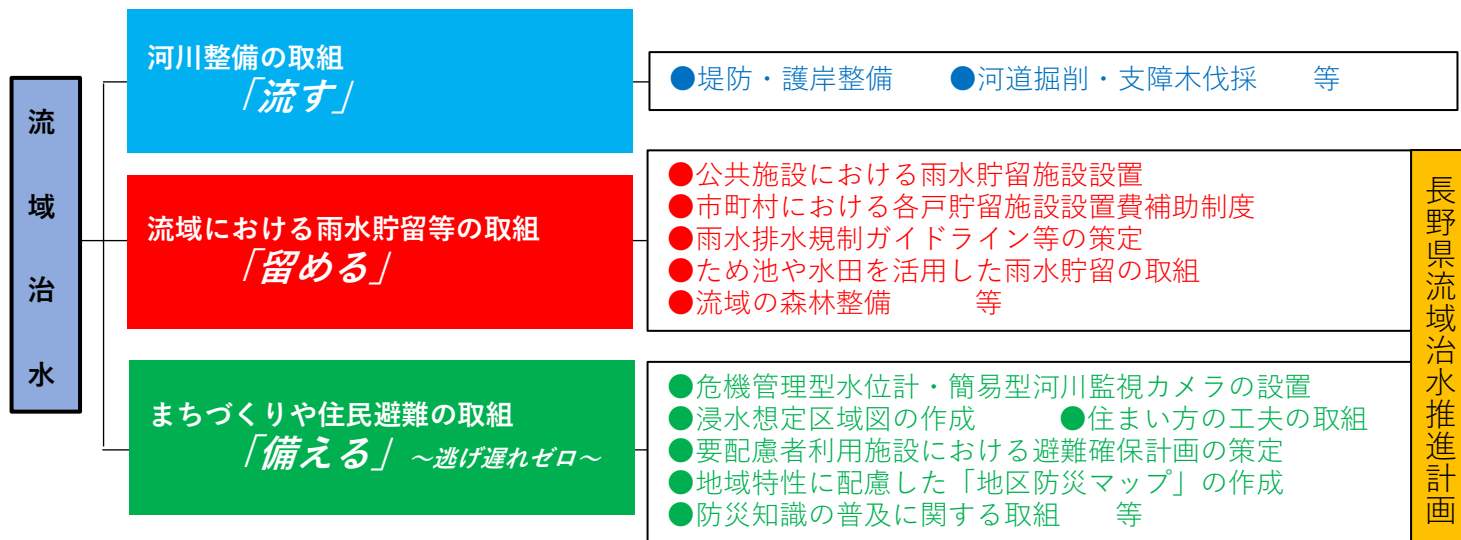
内 容

「流域治水」の3つの柱のうち、堤防整備等の「河川整備の取組」は、河川整備計画等に基づき河川管理者が推進する。よって本計画では、対象を明確とするため、「流域における雨水貯留等の取組」、「まちづくりや住民避難の取組」の2項目に絞った計画としている。

期 間

令和3～7年度（5か年）

主な取組一覧



● 長野県全体での「流域治水」の推進 ～「長野県流域治水推進計画」の策定～

(1) 流域における雨水貯留等の取組 「留める」

降雨の河川への流入抑制や、市街地等の浸水被害軽減のため、降った雨を直接河川に流すのではなく、流域で雨水を「留める」ことを主体とした取組を推進します。

● 公共施設における雨水貯留浸透施設設置

県有施設や市町村施設での雨水貯留浸透施設の設置を進めます。
また、来庁者に雨水貯留タンクを身近に見ていただくことにより必要性を認識していただき、民間事業者や個人の雨水貯留浸透施設の設置を促していきます。

◇目標：県有施設におけるタンク設置 439基 (R3:88基設置予定)

◇目標：雨水貯留浸透施設 20施設 等



雨水貯留施設設置例
(長野市豊野支所)



雨水貯留タンク
設置例

● ため池や水田を活用した雨水貯留の取組

ため池の管理者に対し、空き容量の確保による洪水調節効果を説明し、低水位管理の取組を開始します。また、洪水吐切り欠きの設置により流入水を貯留し、下流河川への流出を抑制します。

水田については、農業関係者の協力のもと、水田の排水口に調整装置を設置することにより、水田の雨水貯留能力を高め、下流河川への流出を抑制します。

◇目標：ため池を活用した雨水貯留の取組 404箇所
(R3.5:市町村研修会実施)

水田を活用した雨水貯留の取組 6市町村



ため池の低水位管理
実施例



水田排水口の
調整装置設置例

● 長野県全体での「流域治水」の推進 ～「長野県流域治水推進計画」の策定～

(2) まちづくりや住民避難の取組 「備える」 ～逃げ遅れゼロ～

市町村、民間事業者や県民と協働して、各地域の特性に応じた避難体制を構築するとともに、水害に備えたまちづくりの取組を推進します。

● 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置

住民の迅速な避難行動に繋がるように、洪水等の出水時に観測に特化した水位計やカメラを設置し、リアルタイムの情報提供に努めていきます。

- ◇目標：危機管理型水位計設置 10基(R3:10基設置予定)
- 簡易型河川監視カメラ設置 100基(R3:100基設置予定)



簡易型
河川監視カメラ

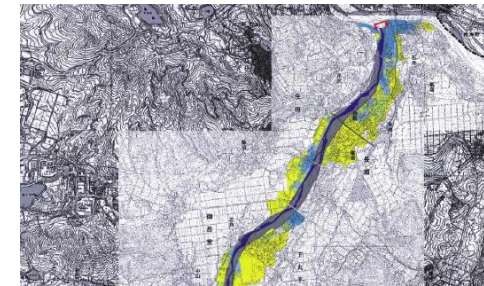


危機管理型水位計

● 浸水想定区域図の作成

避難所の場所等を記載した、市町村が作成する「ハザードマップ」の基となる「浸水想定区域図」の作成を進めます。

- ◇目標：「浸水想定区域図」の作成 319河川(R3まで:196河川作成予定)



浸水想定区域図作成例

【参考】

令和元年東日本台風災害2年シンポジウム
～「災害復旧・復興」と「流域治水」～

○日時：令和3年10月22日（金）13:30～15:30

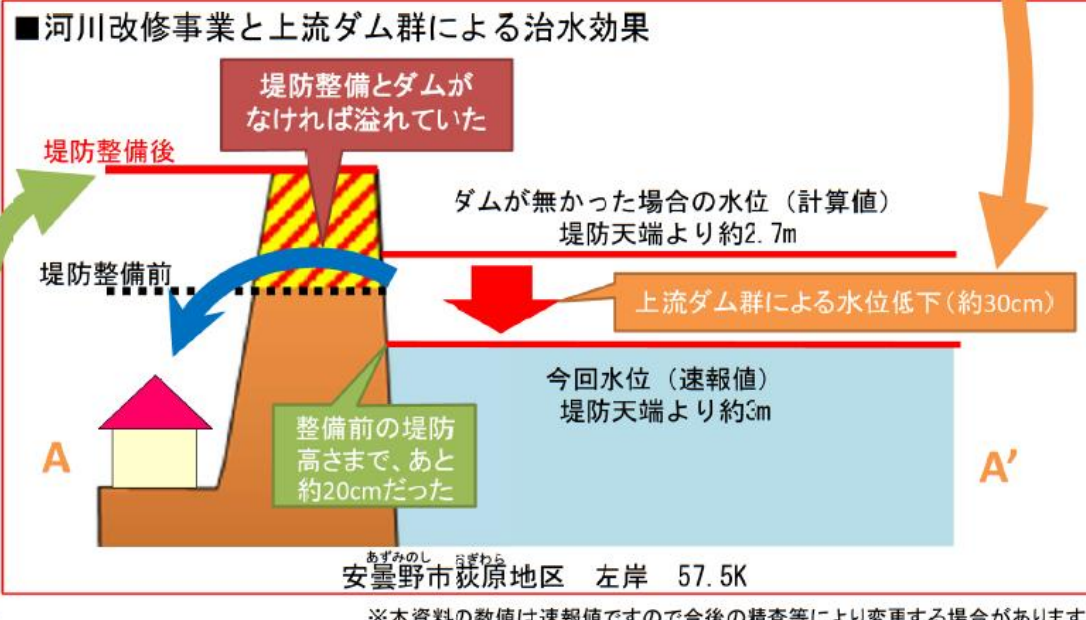
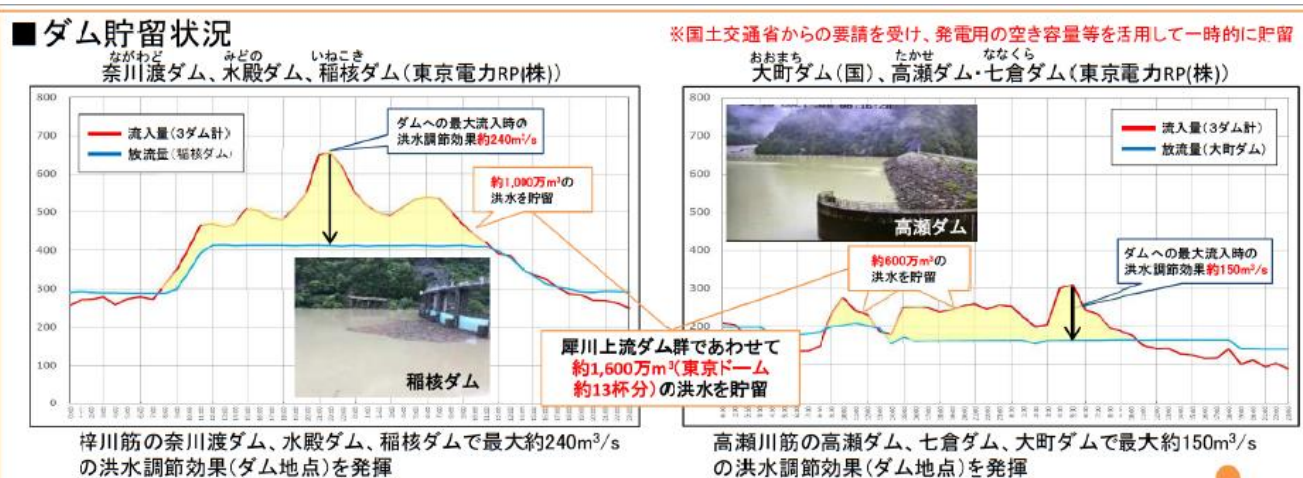
○場所：長野市芸術館 リサイタルホール（オンライン併用）

○主催：国土交通省千曲川河川事務所、長野県

○主な内容：基調講演、国・県からの情報提供、パネルディスカッション

【災害に対する取組】 河川改修及び犀川上流ダム群による治水効果

令和3年8月13日からの大雨に対して、利水ダムを含めたダムの事前放流、大町ダム(多目的、国)、奈川渡ダムなど5つの利水ダム(東京電力)の連携したダム操作により、水位を30cm低減させ、氾濫を回避。



4-3 「逃げ遅れゼロプロジェクト」の推進

- 信州防災「逃げ遅れゼロ」宣言より
「「自らの命は自らが守る」認識のもと、自らの判断で避難行動をとる、
という防災意識の高い社会を、一日も早く構築する必要がある。」

令和元年東日本台風災害を踏まえた防災・減災対策の取組

① 「逃げ遅れゼロプロジェクト」の強化・推進

- ・ 「信州防災アプリ」の構築
- ・ 率先安全避難者制度の運用
- ・ 防災情報システムの改修・更新

② 避難所 T K B の環境改善向上

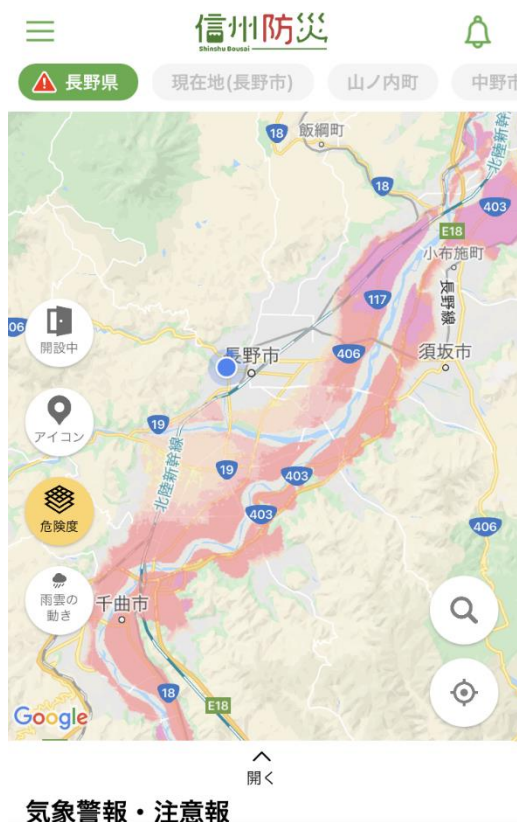
③ 令和元年東日本台風災害デジタルアーカイブ事業

信州防災アプリ構築事業 【令和3年10月上旬リリース予定】

避難計画（マイ・タイムライン）作成機能等を搭載したアプリを開発

①危険性を確認

ハザードマップで現在地等の危険度を知る



②私の避難計画

避難につながる行動を提案、避難計画作成を支援



③行動の提案

作成した計画に基づきプッシュ通知を行い避難を促す



「猪の満水」 令和元年東日本台風災害デジタルアーカイブ事業

令和元年東日本台風災害における様々な情報を個人、団体、関係機関から収集し、専用Webサイトで、10月中旬公開 <信州大学との共同事業>

千曲川デジタルアーカイブ (デモサイト用)

住所: 検索

登録情報

- インタビュー (動画)
- 災害発生時
- 復旧
- 復興
- その他
- 災害発生時の記録
- 災害発生時の記録 (動画)
- 復旧の記録
- 復興の記録
- その他

※画像をクリックする事で画像が表示されます。

復興の記録
長沼追悼と復興のつどい、撮影日時：2020年10月11日、廣内研究室撮影

災害発生時の記録
被害状況、撮影日時2019年10月15日、廣内研究室撮影

復旧の記録
被災から約3か月後、撮影日時2020年1月10日、廣内研究室撮影

地図上にインタビュー動画、写真を表示。クリックして
→いつ・どこで・何が起きたかについて分かる仕組み

防災教育、地域防災に活用することで地域の災害伝承、防災対策を推進

5 ボランティア、NPO等の活動

5-1 ボランティア、NPO等の活動

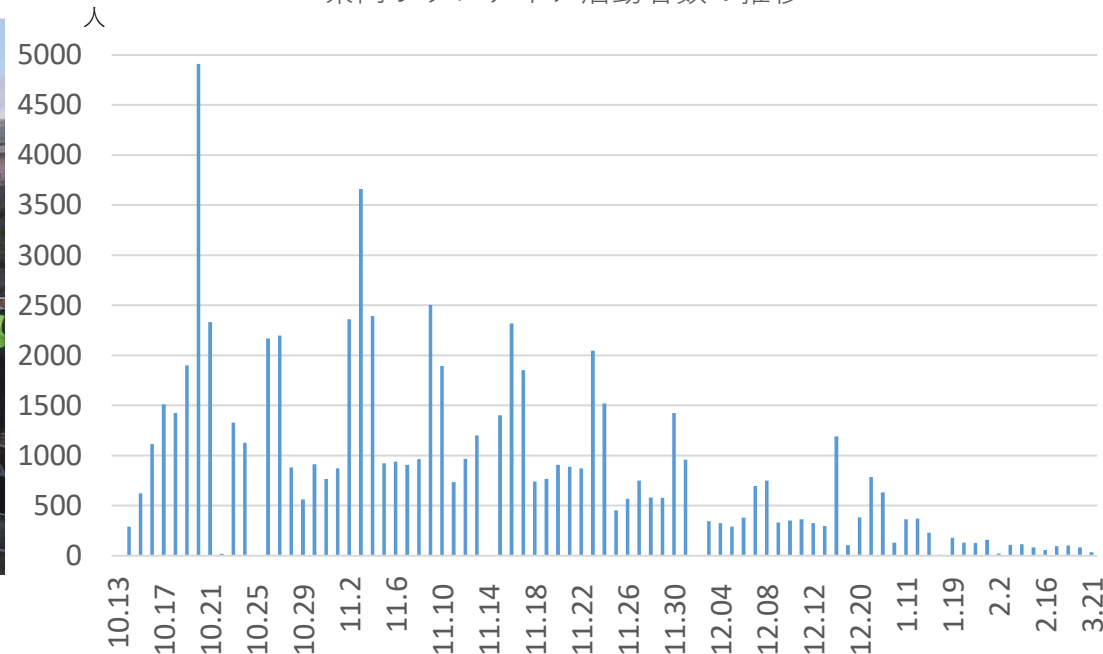
(1) 災害ボランティア活動

【取組の進捗状況】



長野市災害ボランティアセンターりんごサテライト（長野市穂保）

県内ボランティア活動者数の推移



- ・ 発災後、R1. 10. 16までに県内11市町村で災害ボランティアセンター開設 (R2. 3月末まで)
- ・ 全国から参加したボランティア 延72, 989人
- ・ 長野市では、R2. 6. 6以降家財搬出等のボランティア活動再開 (R2. 6. 6～R3. 8. 25 延176名活動)

【活動状況】

□泥かき



□災害廃棄物の運搬ボランティア



□炊き出し



□救護



□清掃



【課題・今後の取組】

- ・ボランティアニーズを把握するため、生活支援・地域ささえあいセンターの訪問調査等を継続
- ・今後の災害発生時において、ボランティア活動の円滑かつ効果的な実施を支援するため、長野県社会福祉協議会と長野県災害ボランティアセンターの設置・運営に係る協定を締結 (R2.12.23)

(2) NPO等の活動



情報共有会議で活動状況を共有



重機を持ち込み災害ごみを撤去



子どもたちに居場所と食事を提供

【県の取組】



長野県災害時支援ネットワークと県が協力して、長野県NPOセンターを運営主体とする

“ONE NAGANO基金”を立ち上げ。

県から基金の原資として1,000万円を拠出(補助)。

◆助成の状況

第一次：32件（972万円）を採択、助成

第二次：17件（360万円）を採択、助成

【課題と今後の取組】

課題

- ・ 県外等の支援団体から地域の活動に引き継ぐ過渡期を迎えており、支援の手が滞らないよう連携が必要。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底したうえでの活動が必要。

県の取組

- ・ 災害時支援ネットワークや県NPOセンター等と引き続き連携、情報を共有。
- ・ 他の民間助成金等の情報も積極的に提供、助言。

6 地域の取組

6-1 地域の取組（佐久地域振興局）

【インフラの復旧状況】

①農地・農業用施設の復旧状況

佐久地域の農地・農業用施設災害復旧工事は概ね発注が完了。仮設を含め面積換算で、頭首工の99.9%、農地の95.6%において、営農再開が可能です。＜令和3年7月末現在＞

工種	被災面積	営農再開の状況		
		0	50	100
頭首工	4,887ha	4,884ha	99.9%	
農地	569ha	544ha	95.6%	

佐久市石神



被災時



現在

②治山・林道事業の状況

県施工による治山事業は、令和3年6月をもって全て完了しました。
市町村施工による林道事業は、令和4年度中の完全復旧を目指し、その支援に努めています。

事業名	箇所数	金額（千円）	施工主体
治山事業	7	443,115	県営施工
林道事業	117	1,002,048	市町村施工
計	124	1,445,163	

佐久市田口



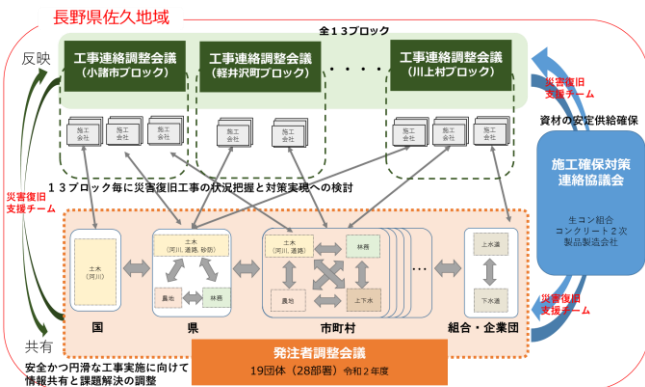
被災時



現在

③ 「佐久地域災害復旧マネジメント業務」の導入による復旧状況

佐久地域一体で災害復旧工事の早期完了を図るため、「発注者調整会議」等による関係者間の横断的な調整により、概ね8割の県工事が完了。また、進捗状況等をHPで発信しました。 <令和3年9月末現在>

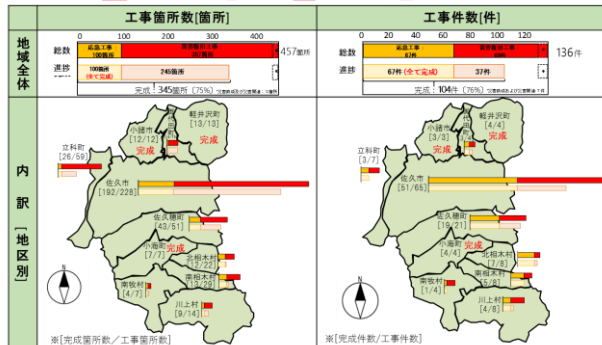


災害復旧工事マネジメント
佐久地域災害復旧支援チーム (長野県佐久建設事務所・UR都市機構・公益財団法人長野県建設技術センター)

各会議体関係図

佐久建設事務所の災害復旧工事進捗状況 [令和3年8月末時点]

- 被災箇所 457箇所 で136件の災害復旧工事を実施
- この内、345箇所 (先月比+11箇所) ・104件 (先月比+5件) の工事が完成



災害復旧工事進捗状況

工事連絡調整会議 (部局横断)



災害復旧現場レポート

6-1 地域の取組（上田地域振興局）

① インフラの早期復旧

□ 道路・橋梁・河川

○ 海野宿橋・千曲川河川堤防護岸工事（本海野）

- ・R1.11.15 応急工事完了、しなの鉄道運行再開
- ・R2.12.28 河川工事の不良を公表し、再施工中
- ・R3.7 護岸工事完成
- ・海野宿橋は、橋梁が概ね完了し道路盛土を施工中

（Build Back Betterのポイント）

国代行事による護岸、橋梁基礎の強化工事（河道拡幅、護岸基礎の補強、橋台基礎への杭実施 等）

○ 田中橋周辺護岸工事

- ・橋台裏の県道崩落し1名が死亡、全面通行止めとなる
- ・R2.3.11 橋梁周辺を復旧し通行再開、護岸工事継続
- ・R3.3 護岸工事完了

○ 内村橋架替え工事

- ・洪水による河床低下で橋脚が沈下し全面通行止中
- ・無橋脚の橋梁新設工事として、現在上部工を施工中
- ・公表した完成期限(R3.11)より1日も早い完成を目指す



② 営農再開に向けた支援

□ 農業被害の状況

（単位 千円）

作物被害		生産施設・農業機械		農業集落排水施設	
面積 (ha)	金額	棟等 (箇所)	金額	箇所	金額
135.2	38,405	142	177,566	1	20,000
農地		農業用施設		計	
箇所	金額	箇所	金額	金額	
892	891,000	780	5,570,000	6,696,971	

□ 農業用水の確保による営農再開

- ・頭首工の被災により用水の確保が困難となった農地 2,368ha
 - 内 復旧や仮配水により水稻作付け可 2,300ha(97.1%)
 - 通水不可(代替作物栽培 等) 68ha(2.9%)
- ・令和3年度中に全ての頭首工が復旧の見込み



③ 地域公共交通の確保

□ 鉄道路線代替輸送支援

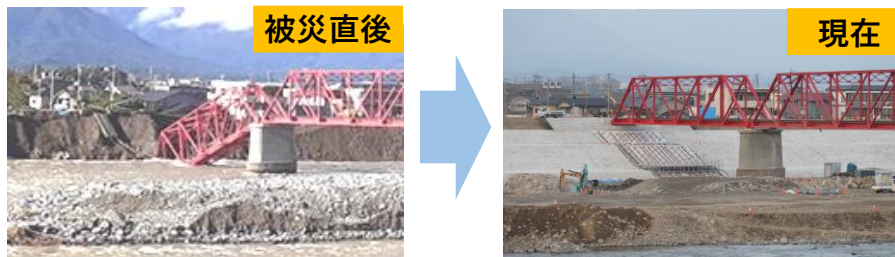
○ **しなの鉄道** (負担割合:国1/4、県9/16、沿線市町3/16)

代行バス運行区間	運行期間	利用者数
田中駅—上田駅	R元.10.23～R元.11.14	バス 1,076人/平日 新幹線1,443人/平日

○ **上田電鉄** (負担割合:国1/3、県1/3、上田市1/3)

代行バス運行区間	運行期間	利用者数
下之郷駅—上田駅	R元.10.15～R元.11.15	2,950人/日
城下駅 —上田駅	R元.11.16～R3.3.27	1,598人/日

□ 上田電鉄別所線 千曲川橋梁復旧工事



(Build Back Betterのポイント)

上田市が事業主体となり、上田電鉄等と連携して実施

- ・第1期工事(～6月上旬):橋桁撤去、橋台構築・橋脚補強
- ・第2期工事(11月～3月):橋桁架設、橋脚補強等
- ・全線運行再開:令和3年3月28日(日)

④ 観光復興に向けた取組

□ つながる灯りキャンペーン (地域振興推進費事業)

管内市町村及び観光団体と連携し、落ち込んだ地域内観光需要を喚起

○ つながる灯り「#lightup_ueda」 Instagramキャンペーン

- ・地域の復興を感じる「灯り」のある写真を募集(応募期間:R2.1.24～3.11)
- ・投稿写真数:360件超

最優秀賞



○ つながる灯り信州上田 観光キャンペーン

- ・アリオ上田にて上田地域の物産販売、缶バッチ製作、地域のPR等参加型イベントを開催(R2.1.25)
- ・イベント来場者:1,350人



○ 復興応援企画「がんばろう！ 上田」in 別所線上田駅

- ・園児が制作した応援メッセージ等の展示
- ・ミニコンサートの開催等(R2.2.17)





① インフラの復旧・防災減災のための社会基盤の整備

長野建設事務所管内

査定決定額 14億3千6百万円
 災害復旧工事 42箇所（道路16箇所、河川26箇所）
 完了 令和3年3月全箇所完了

一級河川浅川：長野市 浅野

主要地方道 長野営平線 ： 長野市 1号カーブ上



< 発生直後 > (令和元年10月)

< 竣工 > (令和2年9月)



< 着工前 > (令和2年4月)



< 竣工 > (令和3年3月)

須坂建設事務所管内

査定決定額 16億6千4百万円
 災害復旧工事 32箇所
 (道路7箇所 河川25箇所)
 完了 令和3年7月末 27箇所
 (道路6箇所 河川21箇所)

高山村 八滝上 被災状況



現場状況 (令和3年7月)

残り5箇所 今年度中完了予定
 (道路1箇所 河川4箇所)

松川 大豊橋下流 浚渫



出水状況



着工前



しゅん工 (令和3年5月)

千曲建設事務所管内

査定決定額 2億7千7百万円
 災害復旧工事 5箇所 (河川5箇所)
 完了 令和3年3月

【沢山川】
 被災直後 (令和元年10月)



(沢山川においては、水位上昇に伴う堤防からの越水により、堤体の浸食被害が発生したことから、令和2年度より堤防天端舗装による堤防強化工事を実施しており、令和3年度中に完了予定)

【沢山川】
 堤防からの越水による堤体の侵食 堤防天端舗装完了



しゅん工 (令和3年3月)



②暮らし・生業の再生

浅川第一排水機場

農地等保全のため、被災した排水機場の復旧工事を長野市から受託し、令和3年度中の竣工を目指して推進



第一機場が浸水し、機能停止



旧機場を解体し、新機場に着手



水槽が完成。12月からポンプ据付

りんご新わい化・高密植栽培の果樹園の復旧



被災直後 令和3年8月

長野市津野

洪水により倒壊した新わい化・高密植栽培のりんご樹及びトレス（支柱）が復旧

浸水した農業用施設の復旧



被災直後 令和2年9月

ながのフルーツセンター
(旧長野平フルーツセンター)

泥水等が流入して被災した選果場は、補助事業により選果機の機能を向上させ、令和2年度から稼働

令和3年8月前線 豪雨被害への支援



(小布施町)

千曲川水位上昇により、河川敷内の果樹園等が水没（長野、須坂、小布施）

被害額 66百万円(令和3年8月19日現在)
被災翌日から樹体保護のため、殺菌剤防除等の指導により営農継続の支援を実施

②暮らし・生業の再生(続き)

長野地域版 ONE NAGANO.NET

長野地域振興局による情報発信サイト



岡学園の学生
による専用サイトの
デザインの
プレゼンテーション
鶴や写真をモチーフにした
もの等々。
素晴らしいデザインが多く提案され、
上記2つを採用



学生との協働

局及び「いまこそ応援がんばろうNAGANO2020実行委員会」
(事務局:長野市) が学生と協働して被災地を支援

市立長野高校美術部の学生が、
被災した小学校の子どもたちを
励ますために絵画を作成し、
長沼小学校へ寄贈



清泉女学院大学の学生が、被災地域の
りんごを使用した「焼肉のたれ」を市内企業と
ともに開発、販売
商品を通じて被災地域のりんごをPRすると
ともに復旧、復興状況を発信



専用サイトに、チャット
ボットを導入し、被災
状況の学び等で活用。
キャラクターアイコン
の作成には学生も
参加

「学び」の導入
10月(予定)

被災地の取組への参加

豊野地域



被災した方々の交流拠点
「まちの縁側 めくめく亭」が
豊野支所内にリニューアルオープン
(令和3年4月)

長沼地域

住民と国、県、市職
員による、河川防災
ステーションの活用
方法にかかる
勉強会への参加



ZOOMを活用した
意見交換会への参加
(拡大復興対策企画委員会)

③災害に強い地域づくり

住民主導による警戒体制づくり等



長沼地区
防災・減災
まちづくり座談会
(令和2年9月)

安茂里地区
治山・砂防・治水
対策委員会設立
(令和3年5月)



防災学習会等の開催



- 排水機場を活用した
防災学習会の準備
- 地域住民を対象とした
出前講座の実施(予定)

6-1 地域の取組(北信地域振興局)

北信地域の被害

- 住宅地、農地への浸水、土砂流入・堆積
- 道路、河川、農業用施設等の損壊



復旧・再建

- 道路、河川、農地、農業用施設等の災害復旧事業 → 進捗率：**96.4%**
- 事業再建
 - ・ 飲食店、施設農家等 → グループ補助金、特用林産施設災害復旧事業等 (補助金額 277,918千円：終了)
 - ・ 小規模事業者、商店街等 → 持続化給付金、商店街にぎわい創出補助金 (補助金額 69,710千円：終了)

営農の状況

- 農地、農業用施設等の復旧状況
 - ・ 被災367箇所のうち360箇所 (98.1%) が完了 (**今年度中にすべての工事が完了予定**)
 - なお、工事中の7箇所は仮設工事で通水を確保することにより**営農への支障なし**

中野市 上今井(長原)地区 農地への土砂堆積の復旧状況



写真提供：中野市

(参考) 農業被害の状況

項目	面積・箇所	被害額 (千円)
作物被害	689ha	294,074
生産施設・キノコ等農業機械	397箇所	513,436
農地	613箇所	4,181,000
農業用施設	320箇所	3,033,000
合計		8,021,510

- 一部で枯死が見られた果樹は、新たな植樹等に対応